

2023（令和5）年度 マリヤこども園学校評価実施要項

2023年4月1日制定

[目的]

- 学校（こども園）として組織的・継続的な改善を図ること
- 学校（こども園）・家庭・地域の連家協力による園づくりを進めること
- 一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること

[評価]

- ① 自己評価は、当こども園の多職種（保育教諭、栄養士、看護師、事務職員、一時預かり専任者等）によって行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取組の状況について評価を行う
- ② 学校評価関係者評価は、マリヤこども園に在籍する園児の保護者代表と地域住民及び姉妹法人の園長等が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う
- ③ 5年ごとに外部の専門家を中心とした第三者評価を実施し、専門的視点からの評価を受ける

[評価時期]

教職員による自己評価	年1回	11月に通知し、一月に実施
評価委員による評価	年1回	11月に通知し、一月に実施
第三者評価	5年ごとに1回	2012年/2017年/2022年

[公表]

学校評価の結果について、保護者及び地域住民にHPを通じて公表する。尚、公表時期については、実施した翌月とする。

[評価委員とその任期]

自己評価者

太田礼子園長、千葉佳奈子主幹保育教諭、庄子未恵主幹保育教諭、高橋咲帆保育教諭、山本あづさ保育教諭、森塚いずみ保育教諭、本橋聡子保育教諭、渡邊悦子保育教諭、吉村瑞穂栄養士、菊地寛子看護師、岩崎知美事務員、崎田恵美保育教諭（一時預かり専任）

評価委員

(1) マリヤこども園に通園する園児の保護者	保護者会会長 保護者会副会長	麻野 望美 川上 稚早弥
(2) 地域関係者	民生委員 民生委員	山野 洋司 拝詞 妙子
(3) 当園以外の職員	千葉県我孫子特別支援学校教諭 学校法人堀口学園 昭苑こども園園長	山上 深雪 堀口 義也
(4) その他、園が必要と認めたもの		

評価委員の任期は委嘱の日から当該年度末とし、再任を妨げない。

2023年度の教育活動等に対する学校評価書

1. 保育の方針と目標

全ての人は例外なしに、「神によって創造された存在である」という理解に立って、神を愛し、自然を愛し、人間を尊ぶことが人間性の基礎であることの視点に立ち、以下のように基本方針を定め、これを実践し、具体化するために、乳幼児一人ひとりの主体性（自立性・自立心・自律性）を重んじ、社会性の芽生え（協調性・連帯性・責任意識）を育て、個性が伸びる創造性（興味・集中力・探求心）のある子どもを育成することを目標とする。

<基本方針>

1. 心の清い正直な人間（良心教育）
2. 心の豊かな明るい人間（情操教育）
3. 体の丈夫な強い人間（健康教育）
4. 動作の機敏な人間（安全教育）

2. 2023年度の重点課題

1. 質の高い保育に向けて保育の共通理解に努める
2. 現場職員が生き生きと働ける職場環境を整える
3. 職員の働きやすい環境づくり
4. 地域のニーズに即した広場の充実を図る

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

（※評価はA(80%) B (70%) C (60%) D (やっではみたが成果としては50%) E (全く手つかず) で表している

〔学校評価取組の目的〕

- 学校（こども園）として組織的・継続的な改善を図ること
- 学校（こども園）・家庭・地域の連携協力による園作りを進めること
- 一定水準教育の質を保証し、その向上を図ること

〔評価〕

- ① 自己評価は、当こども園の他職種によって（保育教諭、栄養士、看護師、事務職員、一時預かり専任者等）行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取り組みの状況について評価を行う。
- ② 学校評価関係者評価はマリヤこども園に在籍する園児の保護者代表と姉妹園の園長他、地域住民等が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う
評価委員（民生委員：山野洋司、民生委員：拝詞妙子、保護者会会長：麻野望美、保護者会副会長：川上稚早弥、千葉県安孫子特別支援学校教諭：山上深雪、姉妹法人昭苑こども園園長：堀口義也）

※ 2023年12月28日 内部自己評価実施、2023年1月20日学校関係者評価実施

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会					
		評価					評価					
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
教育保育方針	法人理念の共有を図り、理念に則った保育実践に努める (資料①)	5	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二法人合同研修会等で法人の理念を再確認している ・ 入職時や研修の際に、法人理念についての話もあり、職員の間で共有がなされている。 ・ 目に見えるところに理念があり、確認もしやすい行動指針もわかりやすく ・ 理念が周知されているので、理念に沿った保育実践をしようと努めている ・ 日々の保育の振り返りや、行事後の振り返りなどで全体として認識を強めていけるようにできていると思う ・ エールができたことにより、さらなるインクルージョンに目を向け、未来を見据えた保育を心掛けていた。 <p>※ 法人理念に即した地域への交流や活動を通して、認識を深める努力を今後はしていく。</p> <p>※ 職員内の理念の「浸透」という意味で、個々に認識の違いが見られている。毎会議時に読み合わせ等しながら全員が共通理解を図るとより、何をもちて浸透というのか…という点においてある程度の共通理解が図れるのかもしれない。</p>	5	1				<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度の共有としては園内に浸透したと思います。 ・ 今後の課題としては、「継続」かと思います。 <p>継続的に振り返り、理解を深めていくことが望まれる点です。</p>
	保育計画が事前にできるように早目の話し合いの定着化を図る	2	6	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員皆で考え、会議ができるように動いている ・ 話をしたり意見を共有できている ・ 早目の話し合いはできてはいるが、時間不足を感じる ・ 早目にを意識はしていたが、実際には行事の決め事等に時間を要してしまったので、2学期以降はクラス内での話し合いの時間作りを心掛けた <p>※ 早目の話し合いへの努力はしているが、内容の理解度や把握が個々にバラつきがあるので、細目な確認が必要</p> <p>※ 早目に…というところが時期によっては難しい時もあるのが課題</p> <p>※ 時間不足により内容の深まりが不足なので、時間作りが課題</p> <p>※ また、時間を自主的に作ったりすることにはまだ定着には結びついていない。</p>	1	5				<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間不足の中、話し合いの重要性を職員皆で重視し、時間のやりくりをしている点が素晴らしいです。

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会								
		評価					評価								
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E				
保育教諭の質の向上	全クラス共に子ども達が主体的に遊び、生活する環境を室内外において整える	3	8	1											<ul style="list-style-type: none"> ・コーナー保育や様々な遊びを展開することで、子ども達が好きな遊びができたり、興味を持つことができています ・子どもが発した言葉を拾って遊びを展開したり、時期に合った遊びを用意し、整えられている ・今の子どもの姿に即した環境をもっと取り入れていけるようしっかりと安全点検している ・ヒヤリハット報告書を用いて安全面における環境整備を行い、いつでも子ども目線で取り組める内容・環境の提供を心掛けている <p>※ヒヤリハットやインシデント内容を自クラスに置き換えて事実を捉え、反映していくことが定着するように園全体で強化していくことを引き続き継続していく</p> <p>※今の子どもの姿に即した環境をもっと取り入れていくことができるように個々の子どもを見る目を高めていくために職員同士の対話を重視していく。</p>
	配慮を要する子どもについて、エール職員との連携を密にし、当該児の支援をしていく	3	3	4	2										<ul style="list-style-type: none"> ・法人で保育療育連携会議を行っている ・気になる子については随時話し合っている ・朝終礼の申し送りでも情報を聞くことができ、支援につなげる環境が整えられていると思う。 ・エール職員と担任が連携を密にして、当該児への支援の方法や工夫等について話し合いがもたれているが、時間足らず ・密に行えているクラスとそうでないクラスのバラつきがある <p>※園とエール両職員が担当職員のみならず、定期的に支援内容のすり合わせやコミュニケーションを取れるようにしていくことがより良い支援につながると思うので、情報共有の強化や継続的支援が必要</p>
	園内研修を重ねる中で保育の基本の再確認をする(主任を中心としたOJTの充実を図る)	5	5	1	1										<ul style="list-style-type: none"> ・保育の様子をビデオで確認し、改善すべき点を話し合う機会を設けている ・各クラスの保育状況を主任が巡視している場面が多くあり、クラス担任との共有もしている。 ・特に行事に向けては、行事を行う目的、目標等を主任を中心に話し合われている <p>※研修後や助言後の様子の確認の継続がなかなか行えていない状態なので、継続的に職員研修育成を行っていくことが課題</p>

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会					
		評価					評価					
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
	ヒヤリハットの園内共有 (他人事から自分事への徹底) (資料②)	3	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はより看護師を中心に徹底して行われていたと思う。 ・事例を知ること、再発防止案を共有することにより未然の事故防止率は高まっているように思う ・終礼時の報告により共有したり、ヒヤリハット報告書の確認ができる環境が整えられ、保育に活かすことができている ・危険個所の周知、配慮点等振り返ることができた <p>※周知ができるように掲示及び朝終礼時での報告はなされているが、自分事として捉えるということに引き続き注力していく</p> <p>※ヒヤリハット・インシデントレポートを記入して他職員にも知らせようという意識付けはある程度できたことは評価に値する</p>	3	3				<ul style="list-style-type: none"> ・転んで擦り傷一つでも報告書を記入しているなんて驚きました。子どもの『命を守る』という点において徹底されていてとても感心しました。 ・その都度のヒヤリハットの記録と情報共有、振り返りができている点は素晴らしいです。 ・看護師、保育士の連携もよく取れていると思います。
	職員各自が自己目標を明確にし、定期的に振り返りの時を持つとともに面談を通して次期目標を定めていく	3	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・学期毎に振り返りシートを記入することによって反省点等を客観的に振り返ることができるとともに、目標を把握することができている ・自己目標を立て、それに向かう努力をしており、定期的に面談での振り返り、達成具合など認識している。自身でも振り返りができるよう、目標を手元に置く等して意識できる努力が必要 ・実際文字に起こすことにより改めて自身の目標課題が見えてくる面もあるので、落ち着いて自分と向き合う時間になっている ・面談時に園長はもちろんのこと、主任にも立ち会ってもらおうと良いのでは…？ ・目標設定はできているが、日々の保育に精一杯になり、ゆっくりと自身に向き合う時間があまり持てない <p>※何を目標にしたらいいのか不安になったり分からなくなる時があるので、その都度園長はもちろんのこと、園長だけでなく相談に乗ってもらえる環境を整えていけるとより良い職場環境、職員の質の向上につながることに期待。</p>	1	5				<ul style="list-style-type: none"> ・各職員がモチベーションを維持できるように、園がサポートしている点は素晴らしい取り組みだと思います。 ・マリヤの人間関係、同僚性の構築はとてもよくできていると思います。

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会						
		評価					評価						
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
保護者との	<p>子どもの園での様子をより身近に感じられるようにインスタグラムでの発信に力を入れる。</p>	5	2	5			<p>・ Instagramも沢山の人の見てもらえている</p> <p>・ 園内の様子を保護者をはじめ、地域の方その他色々な人に見てもらえるよう、保育士が中心となって投稿している</p> <p>・ 保護者支援として、コミュニケーションを大切に、些細な伝達事項も担任が直接会話できるように努力するようになった気がする</p> <p>・ 日頃から会話の中で保護者の不安や悩みに寄り添えるように努めている</p> <p>※ クラスにより、投稿に偏りが見受けられるのが時期の課題</p> <p>※ ipadの台数を増やすことを検討</p> <p>※ 日頃から他愛ない会話の中で保護者とのコミュニケーションを取ることに全職員が必要性を感じ、担任以外でもどの保護者とも気軽に対応できる関係性の構築に努めることを惜しまない風土作りを今後も継続していく</p> <p>※ 発信の意味の教育とやり方のわからない職員へ教育も必要</p>	4	1	1			<p>・ 確かに投稿に偏りがあるとは感じます。</p> <p>・ インスタグラムでは普段の様子、目には見えない心の成長、マリヤの魅力などとてもよく発信できていると思います。</p> <p>蓄積された写真の保管方法の検討が必要かと思います。</p>
	<p>行事のアンケートにより親の子どもへの成長への気づきを共有したり、学期ごとの保護者面談を通じて子どもの育ちを喜び合うと同時に家庭内での育児の悩みなども引出し、子育ての伴走者として子どもを中心に家族の支援をしていく。</p> <p>(資料③)</p>	6	2	4			<p>・ 行事ごとにアンケートを取るようになり、保護者の声比以前より良く届くようになった。</p> <p>・ 園への感謝の意を記入する保護者も多く、保育者も励みになっている</p> <p>・ 全職員がアンケートに目を通すことができ、個々の反省とともにお子さんへの思いや悩み、また保護者、職員間の情報共有を行い、お子さんだけでなく、取り巻く環境全てに目を向けていく努力をしている。</p> <p>・ 保護者の不安や悩みごとによっては他職種で保護者も交えた話し合いを持つなど、すぐに対応ができていると感じる。</p> <p>・ 面談では子どもを真ん中に子の育ちを共有でき、このことが保護者支援につながっていると思う。</p> <p>・ 幼児個人面談はとても実りある時間になっていると感じる。乳児組についても面談があっても良いと思う。</p> <p>※ 保護者との関係性により悩みを打ち明けられたりそうでなかったりするものはあるので、保護者との関係作りを惜しまず行うことが大切</p> <p>今後も保護者とのコミュニケーションを重ねながら信頼関係を築き、子どもを真ん中に共に子育てをしていく者として、保護者支援育児支援に心を砕いていくことに努力していく</p>	5	1			<p>どちらかと言えば、幼児組より乳児組の方が心配事や不安なことが多いと思うので乳児組こそ面談の機会を設けるとよいと思う。</p> <p>子どもの成長にフォーカスしてアンケートの設定をしている点がとても良いと思います。</p> <p>子どもを真ん中にした保護者支援、園と保護者の関係づくりは、保育と同様に大切なことだと思いますので、これからも力を入れて取り組んでほしいです。</p>	

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会								
		評価					評価								
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E				
連携と育児支援	親子で遊ぼう会（保育参加）により、園での様子や子どもの成長をより身近に感じていただけるようにする。	5	6	1											<ul style="list-style-type: none"> 参加率が高く、親同士の繋がりを強めることができていると思う 乳児幼児共に保護者から「楽しかった」と満足して下さる声がたくさん届いたことに感謝。 親子の関わり方を観察し、把握しながら各家庭の支援方法を見つけ保護者に寄り添えるようにしていく。 園での様子を一人ひとりに伝えたり、保育を通じて交流する場面もあり、成長や楽しい時間の共有ができたことはとても良かった。まだ移動などの細部についてはスムーズな進行の面で改善の余地がまだあると思う。 遊ぼう会があったことで、日頃の様子が伝わりその後の行事での子の成長がより感じられたのではないかなと思う。 引き続き継続したい 小鳩ルーム（プレ保育）も2歳児クラスとして遊ぼう会（保育参加）に参加できたことはとても良かった。→沢山の同学年の親子とともに過ごすことで自分の子育てでの悩みや子の成長の不安な面を他保護者と交流することで感じる事ができたと、小鳩保護者からも喜ばれた。 <p>※保護者、保育者両者共にあらゆる面で必要度を感じるため、引き続き継続していく</p>
	孤立化する子育て環境の改善のため、保護者同士のつながりを持てるような機会を設けていく。 (資料④)	4	7	1											<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のコーナーを設けたり、保護者同士のつながりが広がったと思う。保護者同士で会話する姿が園内で増えたような気がする。 ※役員さんが園の考えをよく理解して下さったうえで、保護者会としてバザーや交流会の開催をして下さり、大変嬉しい年となった。 ※園主催の遊ぼう会で、保護者同士が顔見知りとなったことで良い相乗効果となったと思う。また、回数というよりは中身の充実感もまた保護者同士の繋がりが深まる一因となったように感じる。 ※乳児組でも遊ぼう会を年2回行い、会を通じて保護者同士の面識ができたきっかけを作れたことはとても良かったと思う。 ※まだ発展途上だと思うので、より良い会につながれるように継続していく。 ※遊ぼう会以外、大きな行事の中でもプログラム内容の変更や構成の仕方の工夫もあり、年間通して回を追うことにつながりが増えた様子有。

評価項目	具体的な取り組み	自己評価					学校関係者評価委員会								
		評価					評価								
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E				
(働きやすい職場づくり)	効率よく事務業務作業や書類整理を行い、勤務時間内で仕事が終わられるようにする (ノンコンタクトタイムの確立を図る)	5	4	3										<ul style="list-style-type: none"> 作業ボードの活用で、期間内に何をすべきかがわかりやすくなった。 日々の保育や作業量の把握、人員配置をスムーズにできたと思う。 全体を把握し、指示できる職員がいたのが良かったと思う。 イレギュラーな急な欠勤が生じ、なかなか時間確保が難しい時もあったが、節目できちんと対応することができていたように感じる時間づくりの工夫はしているが、どうしても行事前のタスク量で時間内に負えられない日も生じている。 タスクを明確にすることでメリハリをつけて取り組むことができたが、まだ時間内で終わることが少し難しい。慣れれば違うかも…。 <p>※ クラス時間の確保ができるようになった。 ※ 保育事務業務（書類）については各個人差が十分大きく課題 ※ 時間の使い方の見直しの点ではまだ工夫の余地があると思うので、次年度さらに改善を加える</p>	<ul style="list-style-type: none"> 効率的に働き、時間内に終了しようとする意識を皆で持つことがとても大事ですね
	クラス内ミーティングの時間の確保 (クラス内話し合いの充実化)	3	8	1										<ul style="list-style-type: none"> クラス内ミーティングの時間が特に欲しい時には主任に伝えるようになった 時間の確保が十分できるようになったためか、職員同士の連携が良かったように感じる <p>※ 昨年よりクラス時間が持てるようになったのは評価に値すると思うただ、今後は内容を重視していく必要有。 ※ クラスに任せているばかりだと、内容に差が生じているのも事実なので、クラスミーティング内に可能な限り主任も参加していくことがタスク管理や保育内容の充実につながると思うので次年度取り組んでいく</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「時間がない」ではなく「どうしたら時間が作れるか」という意識が浸透していると思います。
地域への取組	非課税団体の社会福祉法人としての公的な取り組みについて 園庭開放「ぼっけ広場」 小学生の居場所作り「虹の広場」 プレ保育「小鳩ルーム」 地域交流枠を広げる 資料⑤	11	1										<ul style="list-style-type: none"> Instagramや口コミで広がっている 毎回定員満員で大盛況だったように感じる 幅広く交流を持っていると思う。様々な活動内容で楽しみにしている方々がとても多い 子育て中のママ達の交流が増えていると感じる 入園へつながっている！ 担当職員の業務負担過多→改善へ！ <p>※ 今後は小学生の居場所作りと同じように、高齢者の居場所作りとしての活動や、世代間交流という意味での広がりも設けられたいのでは…と考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの輪を広げていけると良いですね！ 地域の子育て支援に貢献できていて素晴らしいと思います。 それぞれの活動に力の入れ具合の強さや熱意が伝わってきました 	